

令和3年度

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム

サウンディングセミナー

トリアルサウンディングの参加と その後のアクション

日本出版販売株式会社

染谷拓郎

2021年8月6日

本日はありがとうございます。

茨城県常総市が2019年に実施した
トライアルサウンディング手法に
参加した経緯、実際の反響、
そしてその後のアクションについて
お話しいたします。

民間側の動機、希望、反省、その辺りも
なるべく正直にお話しします。

本日のアジェンダ

- 1.事業者紹介
- 2.トライアルサウンディング参加の経緯
- 3.実施とその反響
- 4.その後のアクション
- 5.トライアルサウンディングに求めるもの

本日のアジェンダ

1.事業者紹介

2.トライアルサウンディング参加の経緯

3.実施とその反響

4.その後のアクション

5.トライアルサウンディングに求めるもの

事業者紹介

会社情報

社名 : 日本出版販売株式会社
資本金 : 1億円
設立 : 1949年9月
代表者 : 奥村景二
所在地 : 東京都千代田区神田駿河台4-3



担当者



染谷拓郎 (ソメヤタクロウ)

1987年生まれ。茨城県守谷市出身つくば市在住。
日本出版販売プランニングディレクター。株式会社ASHIKARI取締役。

「なくても生きていけるものを通じて、気持ちがうれしくなる時間と場をつくること」をテーマに、「箱根本箱」開業、「森の生活」開催、イオンモール上尾「Park of Tables」プロデュースなどを手がける。また、図書館の企画など全国の行政案件なども多く担当。



開発・経営：箱根本箱（神奈川県）18年8月～

18年8月開業。「本に囲まれて暮らすように滞在する」をコンセプトに1万2千冊の書籍を取り揃え、読書の新たな可能性を広げるブックホテル。グッドデザイン賞2019ベスト100を受賞。



プロデュース・運営：文喫 六本木（東京都）18年12月～

18年12月開業。「本と出会うための本屋」をコンセプトに入場料システムを導入し全国各地で大きな話題を呼んだ。グッドデザイン賞2019ベスト100/グッドフォーカス賞受賞。



企画・運営：Library Book Circus（公共図書館）21年7月～

21年7月開催。公共図書館がイベントを開催する労力をさげるため、「サーカス」というコンセプトで、全国各地をめぐるイベントフォーマットを開発。21年度には3箇所開催予定。

事業者紹介



指定管理施設：ノーラ名栗（埼玉県）



プロデュース：トライアルパーク（静岡県）

会社情報

社名：株式会社Wonder Wanderers
資本金：2千8百万円（資本準備金含む）
設立：2017年3月
代表者：須藤玲央奈
所在地：東京都中野区中野二丁目16-22
国立公園オフィシャルパートナーシップ企業

担当者



須藤玲央奈（スドウレオナ）

株式会社Wonder Wanderers代表。移動型アウトドアホテル“The Caravan”や新しいアウトドアコンテンツ、アウトドア宿泊施設など、日本に眠る自然の魅力に既存のコトを組み合わせて、地方自治体や地方事業者とともに色々な“ソトコト”を創っている。
また、国立公園オフィシャルパートナーシップ企業として、国立公園のプロモーションや施設開発にも精力的に参画している。

本日のアジェンダ

1. 事業者紹介

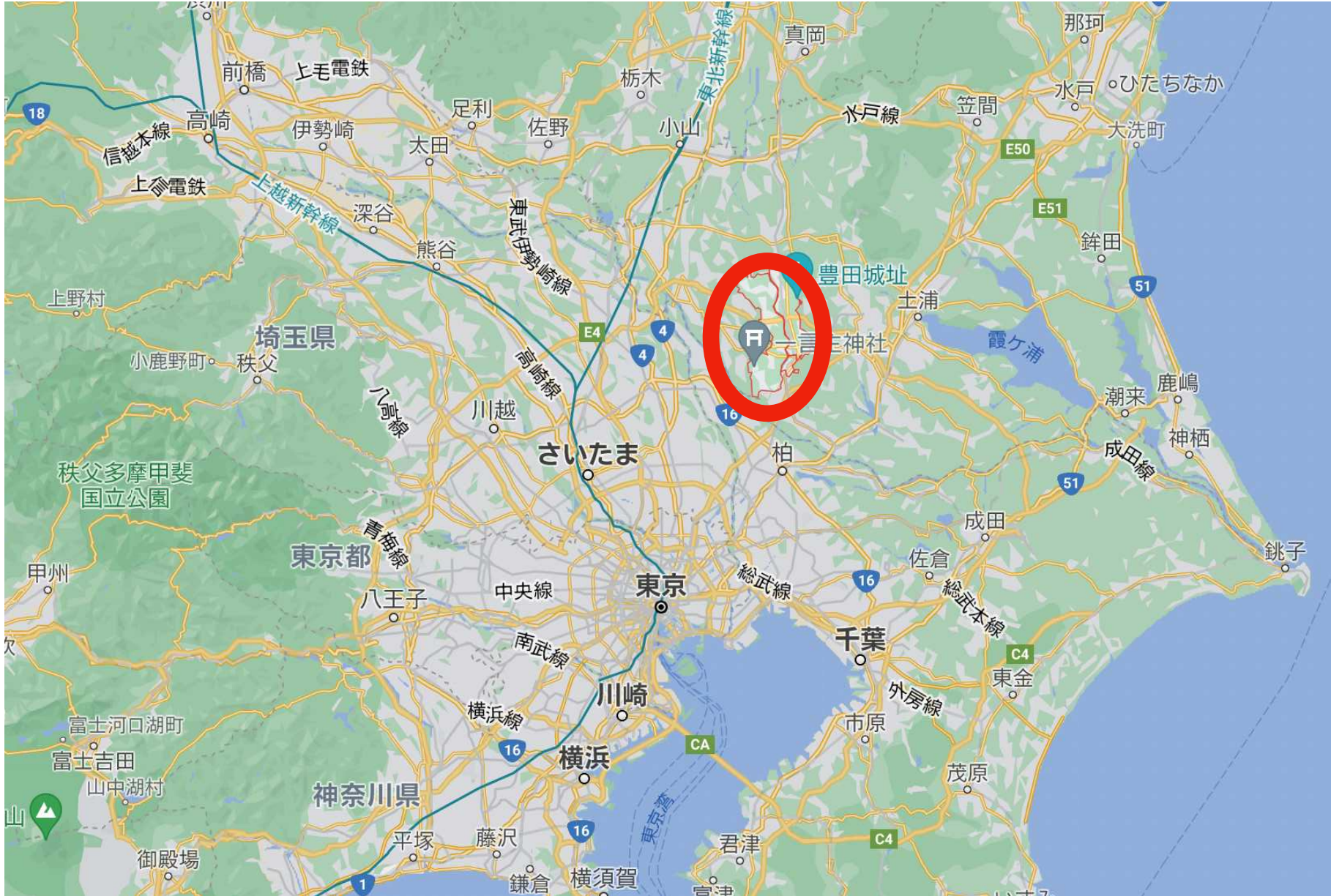
2. **トライアルサウンディング参加の経緯**

3. 実施とその反響

4. その後のアクション

5. トライアルサウンディングに求めるもの

舞台は、茨城県常総市



開園から約40年の少年自然の家



水海道あすなろの里

茨城県 常総市

水海道あすなろの里



トライアルサウンディング参加の経緯

常総市

染谷

日販

WW

1990年代～

小学校の林間学校やミニバスの試合で
あすなろの里を利用



トライアルサウンディング参加の経緯

常総市

染谷

日販

WW

2014年～

アウトドアリーディングと称して、
公園などで野外読書イベントを開催していた



トライアルサウンディング参加の経緯

常総市

染谷

日販

WW

2015年～

社内で新規事業部が設立

「本のある場所」づくりを通じたプロデュース事業



トライアルサウンディング参加の経緯

常総市

染谷

日販

WW

2018年～

あすなろの里の利用率低下、維持管理費の増加などから
利活用方法を検討していた



トライアルサウンディング参加の経緯

常総市

染谷

日販

WW

2018年9月

公共空間逆プロポーザルに常総市が参加しているのを、
染谷が後ろから聴講していた



トライアルサウンディング参加の経緯

常総市

染谷

日販

WW

2019年

- ・あすなろの里のサウンディングに参加
- ・知人の紹介を受けWWと合流
- ・トライアルサウンディング実施へ

本日のアジェンダ


1. 事業者紹介

2. トライアルサウンディング参加の経緯

3. 実施とその反響

4. その後のアクション

5. トライアルサウンディングに求めるもの



森の生活

Life in the woods

2019年11月に「森の生活」を開催。森のなかでの読書体験・トークイベント・音楽ライブなどを計画。1泊2日のキャンプイベントとして実施し、あすなろの里キャンプ場・ロッジ棟エリアを最大限活かしたイベントとなりました。

コンテンツ

BOOK

まだ見ぬ本と出会う機会、お気に入りの本をじっくり読む時間と場所。
“買う”ではなく、“過ごす”ことに着眼しました。ゆったりとお楽しみ下さい。



本の持ち寄り交換会

参加者それぞれが本をもちよって、イベント中に交換しましょう。“本の交換台”にある本は、誰でも持ち帰ることができます。

*ぜひ、ご自宅から本をお持ちよりください。



森の百冊絵本
by 常総市図書館

森の中でゆっくりと読みたくなる絵本を、常総市図書館の司書がセレクトしました。

日中は絵本の読み聞かせも行う予定です。ご家族でお楽しみ下さい。



夜ふかし読書会

静かで暗い、夜の森。真夜中に近い時間に読書会を始めます。読書会と言っても、同じ本を読むのではなく、めいめいが好きな本を読み、感想を語り合います。

*読書会に使用する本は各自でご用意ください。



出張図書館

by 人文系私設図書館ルチャ・リプロ

奈良県の限界集落で私設図書館を開いた夫婦が、「森の生活」に出張します。

日中は、「書物をめぐる冒険」と題して、3本連続のトークを開催します。
ゲスト：白岩英樹さん

MUSIC

夜と朝、笹倉慎介さんによる生演奏を行います。
時間によって異なる表現方法にご注目ください。



笹倉慎介

01 闇夜と火を囲む (16日 19:00~)

静かな夜、キャンプファイヤーの火を囲みながら。

02 朝日が照らす森 (17日 8:00~)

朝の時間、鳥の声や風の音とともに。

FOOD

ひとりでも、みんなでも。
森の時間を愉しくするコンテンツを揃えました。



アウトドアバー

大自然を堪能できるアウトドアバーの誘いと、種類豊富な飲料をご用意します。

*ドリンク料金はチケットに含まれておりません。



シェアスタイル
バーベキュー

せっかくなので、みなさんと一緒に夕食を食べませんか。

BBQ研究家岩井慶太郎さんによる新しいスタイルのバーベキューをお楽しみ下さい。

*バーベキュー参加チケットはPeatixサイトよりご購入いただけます。

タイムスケジュール

16日11時よりイベント開始となり、テントの設置などが可能となります。17日11時にイベントは終了となります。

	BOOK	MUSIC	FOOD
16日 11:00	・本の持ち寄り交換会 ・森の百冊絵本 ・出張図書館 * イベント終日		・アウトドアバー * イベント終日
12:00			
15:00	・トーク「書物をめぐる冒険」 01. 「彼岸の図書館」 15:00~ 02. 「本とともに暮らす」 16:00~ 03. 「ローカルからユニバーサルへ」 17:00~		・シェアスタイルバーベキュー 16:00~19:00
18:00		・ライブ「闇夜と火を囲む」 19:00~20:00	
21:00	・夜ふかし読書会 22:00~23:30頃		
17日 8:00		・ライブ「朝日が照らす森」 8:00~9:00	

エリアマップ

会場の「あすなろの里」には、下記エリア以外にも釣り堀やミニ動物園など様々な施設が揃っています。



A: キャンプ場



B: ロッジ棟

5名まで宿泊可能なロッジ
備品：テーブル/エアコン/
布団5組/洋式トイレ/
かまど（野外）



C: 展望風呂

普生沼が一望できる
幅18mの大きなお風呂。
備品：リンインシャンプー/
ボディソープ
利用可能時間：
17:00~22:00

テント泊の方のための
フリーテントサイト。
設備：屋根付き共同炊事場/テ
ブル・イス付きかまど/キャンプ
ファイヤー場

また、イベントコンテンツも
キャンプ場で開催されます。

























イベント終了後、Twitterやメディアのイベントレポートでは好意的なコメントが相次ぎました。キャンプの新しい楽しみ方を見出したり、菅生沼をはじめとした自然環境に興味をもった参加者もいらっしゃいました。



来場者による感想ツイート



来場者による感想ツイート



2019-11-30
マツオカ ミキ

心の体積がスーッと広がっていくイベントだった。単なる極上体験というわけではなくて、**ごく当たり前な幸せを取り戻した、**という言葉に近い気がした。

あと「太陽光と本」は「鬼に金棒」なくらい、**読書体験が倍になるように感じたのは何故かわからないが、発見だった。**

来場者による感想 (20代男性)

本とキャンプ、異色の取り合わせと思って参加しましたが、いつもと違う自然の中という非日常だったからこそ、いつもと違う感度で本と接することができました。

またあの場でしか出会えなかった人も多かったと思います。今後も、**そのようなコミュニティ形成につながるイベントがあれば、参加したい**と思います。

来場者による感想 (20代女性)

読書×キャンプのイベント「森の生活」は、アットホームで、ゆったりとしていて、とても素敵な空間でした。一般的なキャンプイベントとは異なり、普段はキャンプをしない人も気軽に自然を楽しんでいたように思います。

キャンプというと、アウトドアをアクティブに楽しむイメージがあるかもしれませんが、今回の「森の生活」のように、**ただ本をじっくり読むためにキャンプへ行くのだから、もちろんアリです。**(ちなみに筆者もアクティブ派ではないため、キャンプではいつも本を読んだりボーッとしたりして楽しんでいます)

もしこのイベントレポートを読んで「**キャンプってちょっと良いかも**」と思った読書好きの方がいらっしゃったら、ぜひ一度試してみてください。この楽しさを、たくさんの人に味わってほしいなあと思います。

ウェブメディア「ハビキャン」によるイベントレポート

イベント当日には、神達市長をはじめ常総市職員の皆様がご来場され、企画と空間を実際に体験していただきました。後日掲載されたインタビューでも、「森の生活」を通じたあすなろの里の価値創造に言及いただいています。

「民間事業者が今までにないあすなろの里の魅力を引き出してくれている。これからはそれに市民がどう関わるかが重要ですね」と、市民を巻き込んだ魅力作りに期待する市長。

公共R不動産記事：〈後編〉「対話」の積み重ねが実現させた、日本初のトライアル・サウンディングの裏側に迫る！〉より抜粋 神達市長の発言

「なにか新しいことを始めようとする、いろいろ問題は起こるもの。形になって実感することで、周囲の人も理解してくれるようになる。市民も行政も民間事業者も、みんなが同じ風景を共有できたことがよかった」と、市長も実現されたことの重要性を提言しています。

公共R不動産記事：同上より抜粋

「今回『森の生活』を経験して、民間事業者同士がコラボレーションすることで相乗効果が2倍にも3倍にもなると感じました。これまでの大原則として、入札中は企業同士の顔が見えないようにしていましたが、価値を創造する上でのコラボレーションは行政としても認めていく必要があると思います」

公共R不動産記事：同上より抜粋 平塚氏の発言



ご来場いただいた常総市の皆様 左：堀井氏、神達市長、平塚氏



談笑する様子 左：WW須藤氏、堀井氏、神達市長



神達市長のTwitter投稿

2019年12月日本PPP/PFI協会のセミナー「トライアル・サウンディングの可能性／実務編」に常総市職員の堀井氏・平塚氏とともに日販染谷が登壇。イベント終了後は全国の自治体職員から問い合わせが相次ぎ、高い関心が寄せられました。

「一番印象的だったのは市長が現場にいらっしゃっていて、市長自身が楽しんでいらっしゃる様子が見られたこと、この空間を将来実現させたいんだらうなどと、市長の姿から感じられたことが印象的でしたね。」

公共R不動産記事：「民間事業者・自治体・制度発案者が考えるトライアル・サウンディングの可能性」より寺沢氏の発言

実際に当日は市長や市職員の方も参加されていたので、「こんな風景っていいよね」と、共通意識を持てたことが、次のステップに進むうえで、いいきっかけになったのではないかと思います。

公共R不動産記事：同上より飯石氏の発言

トライアル・サウンディングは本当に意味のあるものにしていきたい。
トライアル・サウンディングを最初にやった自治体として、しっかり形にしたいと思っています。

公共R不動産記事：同上より堀井氏の発言



第168回日本PPP/PFI協会セミナー 左:日本PFI・PPP協会・業務部長 寺沢弘樹氏、公共R不動産 菊地マリエ氏、飯石藍氏、日販 染谷、常総市職員 堀井氏、平塚氏

本日のアジェンダ

1.事業者紹介

2.トライアルサウンディング参加の経緯

3.実施とその反響

4.その後のアクション

5.トライアルサウンディングに求めるもの

2年越しで、指定管理者選定。

指定管理手続きの流れ(公募日程など)

内 容	日 程
募集要領等の公表	令和3年4月28日（水曜日）
募集要領等に関する質問の受付	令和3年4月28日（水曜日） ～令和3年5月26日（水曜日）
募集要領等に関する質問の回答	市ホームページにより随時回答
指定管理者指定申請書等の提出期限	令和3年6月11日（金曜日）
一次審査（書類選定）結果の通知	令和3年6月18日（金曜日）
二次審査（プレゼンテーション）による審査選定	令和3年7月2日（金曜日）※変更
結果の通知	令和3年7月9日（金曜日）※変更
市議会による指定手続き	令和3年8月～9月予定
運営にかかる市との協定締結	令和3年10月予定
施設の改修・整備期間	令和3年12月～令和4年3月予定
運営開始予定	令和4年4月予定

寝る間も惜しんで資料作成。そしてプレゼンへ。。。

(12) 施設の利用促進計画

1. 受付・ショップ 施設の玄関であり、地元の食品と書籍が購入できるセレクトショップ



現状



変更後イメージ



ポイント

- ・施設の総合受付として、宿泊受付や商品貸出業務などを行う
- ・地元の食材や畜産品、アウトドアグッズなどが購入できるセレクトショップを併設
- ・ショップでは新刊書籍を100~300冊程度販売し、書籍購入希望者のニーズに応える
- ・週末などの繁忙期には地元農家が参加するミニマルシェを開催する

イメージイラスト

Confidential

(13) 菅生沼周辺地域との連携について

菅生沼周辺地域連携：里山保全団体との連携

里山保全団体「むくの会」会長と面談し、本施設における里山の環境整備・宿泊プランの連携・体験事業の具体的な連携方を前向きに検討していただきました。また、それ以外の各種団体とも連携し、菅生沼周辺環境を盛り上げていきます。

里山の環境整備



観光客の里山保全の啓蒙・活用の方針に基づき、「むくの会」をはじめとした各種保全団体と連携して、植樹と樹木の管理を依頼します。近隣の農業や住宅に負担をかけず、里山を守るために協力を尽くします。

体験事業での連携



宿泊体験の各種体験も「むくの会」が材料提供等しています。同内容で開催してしまうと財源の赤字懸念につながるため、オリジナルワークショップを開発し、体験事業を展開しています。

宿泊プランでの連携



田舎などの農業体験とその収穫物を使って料理・食卓する宿泊プランを検討します。また、菅生沼保全団体との連携によるハードウェアが楽しめるプランなども検討し、周辺自然環境を最大限活用し、学ぶ機会を提供します。

むくの会会長 長妻三男氏との面談

- ・2021年8月面談実施
- ・本施設の運営方針、業務との連携、自然環境が地元（中各市）出身などに、ご関心いただき、本施設との連携について関心表明をいただきました。

【長妻氏コメント要旨】

あすなろの里の環境整備や体験学習のサポートを長年続けてきた。切るべき樹木、残すべき樹木など、私たちなら自然環境を見極めてアドバイスができるのでぜひ無償には声をかけてほしい。

また、キャンプ利用の家族向けにお土産になるような体験とモノを提供するのはどうか？私たちの仲間を紹介するのでぜひ一緒にプランを検討してほしい。

(注) 施設の利用促進に関するサービス向上案について

施設の利用促進に関するサービス向上案：宿泊時のオプションサービス

多様な宿泊利用ニーズに応えるため、各種オプションサービスを用意します。道具のレンタルサービスだけでなく、他施設との差別化として、自然博物館や環境保全団体との連携、また書籍のセレクトプランなどオリジナルプランを用意します。

セットアップテント（常設テント）サービス



事前予約により、セットアップ（常設）テントの利用プランを提供します。キャンプ初心者及び設備がままにアウトドアの楽しさを提供しつつ、設備や地アクティビティへの体験時間を増やします。個々の個別レンタルも承ります。

自然博物館連携 ガイドツアー



自然博物館と連携したガイドツアー付き宿泊プランを検討します。季節ごとに研修を受けるあすなろの里、菅生沼周辺で観測できる動植物を丁寧に紹介します。自然博物館の入場券付で本施設滞在後に自然博物館へ送付します。

ブックセレクトプラン

- Step 1. 予約時にブックセレクトプランを選択
- Step 2. アンケートフォームが送付され、それに答える
- Step 3. 日販のブックディレクターがアンケートを見て本をセレクト
- Step 4. 施設利用時にセレクトされた本を受け取る

利用者の気分や趣味嗜好に合わせて本をセレクトするプラン。通常の宿泊プランに5,000円~10,000円でアンケートに答えると、日販の本選びのプロ：ブックディレクターがおすすめの本を、現地郵留でお届けします。

農業体験＆食育プラン



環境保全団体「むくの会」との連携によって、田舎などの農業体験と収穫物を使って調理・食卓する宿泊プラン。このプランに参加すると年2回は必ず自然を訪れることとなり、地域経済への貢献も期待できます。

(14) 年間事業実施スケジュール

年間事業実施スケジュール

キャンプシーズンの年間稼働率とあすなろの里主催イベントの開催時期を鑑み、自主事業の実施時期を決定します。全12回それぞれ季節性を感じさせる内容で構成し、開催規模が賑やかなリズムを描くようにスケジュールを調整します。

キャンプ稼働率	自然体験	読書イベント	農業体験	宿泊イベント	読書イベント	自然体験					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コンサートDay 春の生花											
パブリックDay 冬											
パブリックDay 春											
パブリックDay 夏											
パブリックDay 秋											
テーマDay 春-春											
テーマDay 春-夏											
テーマDay 夏-秋											
テーマDay 冬											

イベント内容・時期によっては、同時開催を検討し両者の集客につなげる



選定結果発表。。。

【選定結果公表】水海道あすなるの里ロッジ棟及びキャンプ場の管理運営に関わる指定管理者を公募します

指定管理者の選定結果

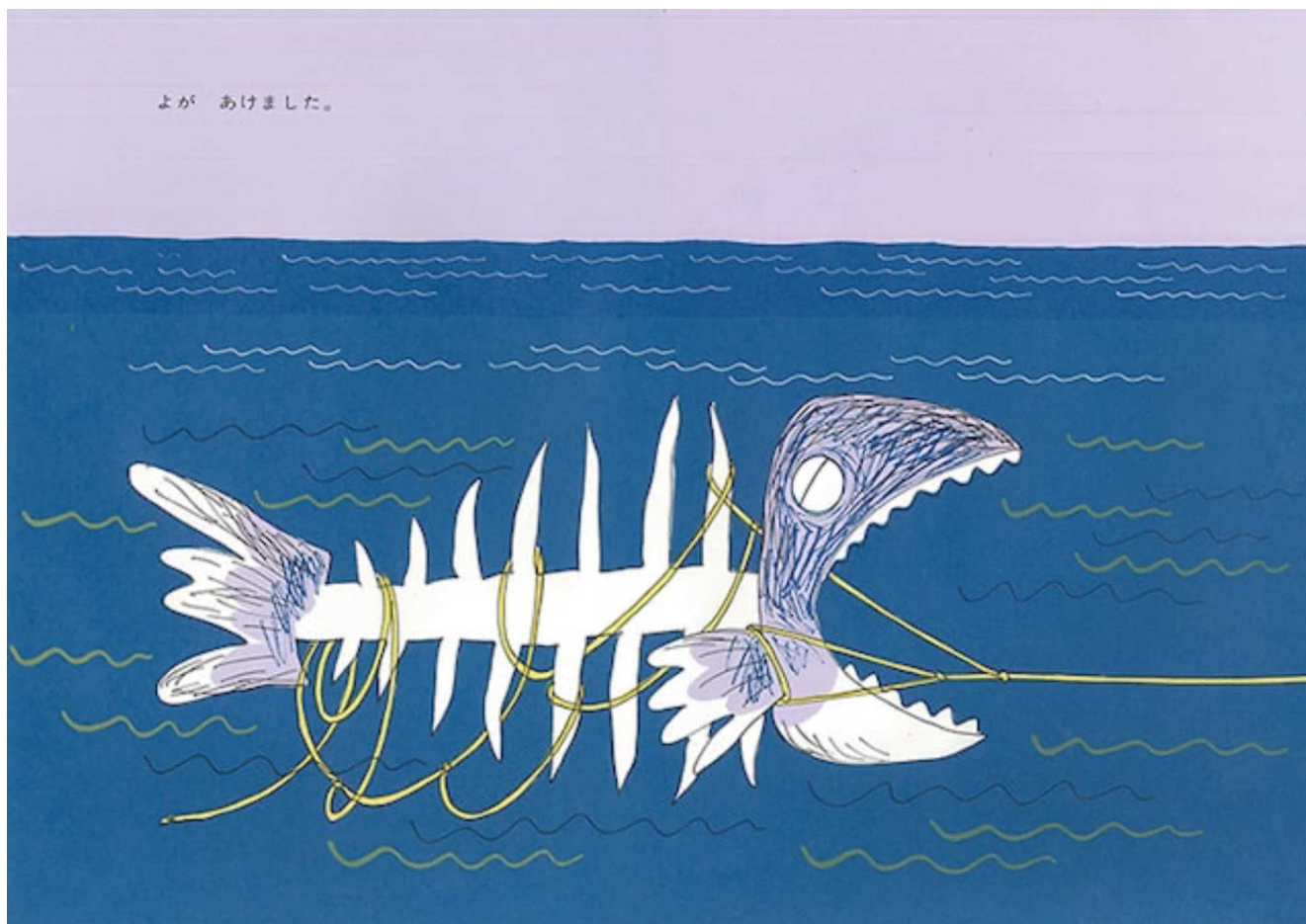
水海道あすなるの里ロッジ棟及びキャンプ場の管理運営に関わる指定管理者実施要領に係るプロポーザルにつきまして、選定結果を下記のとおり公表いたします。

記

優先交渉権者	株式会社 Recamp 代表取締役 丹埜 倫
--------	------------------------

※優先交渉権者との協議が整わない場合は、次点交渉権者との協議になります。

よが あけました。



負けちゃった。。。。

本日のアジェンダ

1. 事業者紹介
2. トライアルサウンディング参加の経緯
3. 実施とその反響
4. その後のアクション
5. **トライアルサウンディングに求めるもの**

今後、トライアルサウンディングを検討される自治体様へ

- ・「とりあえずやってみよう」は避けたい。

→もちろん新しいチャレンジは歓迎すべき。

ただ、その後のスケジュールも予めセットしておいてほしい。

今後、トライアルサウンディングを検討される自治体様へ

・ **随契までは言わないから、せめて公募審査で加点を。**

→ 民間側はアイデア・ノウハウ・時間・資金を使って
チャレンジしている。その後の公募に少しでもプラスになるような
仕組みを導入して欲しい

より詳細な情報を知りたい方。事業内容にご興味の方。

Facebook

「染谷拓郎」で検索。

フレンドリクエストやメッセージお待ちしております。

HP

「YOURS BOOK STORE」で検索。

事業事例がたくさん出てきます。

いろいろお話ししてきましたが、
官民連携がうまくいくことで、
利用者にとって、より良い場所ができるのが一番です。

どうか私たちの想いが、
全国の自治体の皆様に届きますように。。。

ありがとうございました。

令和3年度

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム

サウンディングセミナー

トリアルサウンディングの参加と その後のアクション

日本出版販売株式会社

染谷拓郎

2021年8月6日